



自らまなび 心豊かに
たくましく生きる
江北の子を育てます

江北小だより

～幸せいっぱい 학교をめざして～

校長だより第18号

令和3年3月24日(水) 江北小学校 校長 篠原 一彦

6年生96名が

巣立ちました

3月19日(金)、第74回卒業式を行い、96名の卒業生が一人一人堂々と卒業証書を受け取り、本校を巣立っていきました。コロナ禍の中でしたので、当日は来賓、保護者様、5年生、職員、そして卒業生による卒業式となりましたが、温かい雰囲気の中での卒業式となりました。

卒業式では次のような話をしました。



今日は小学校を巣立つ皆さんに、「巣立ち」にちなんだお話を紹介します。(鷲の写真)この鳥は皆さんもよく知っている鳥、鷲です。鷲は鳥の王者とも呼ばれていますが、他の鳥と違



って断崖絶壁に巣を作るといわれています。その巣は、まず野バラなどのトゲのある枝をしっかりと組み合わせ、外側の枠を作ります。その内側に木の葉などを敷き詰め、最後に自分の柔らかく暖かい羽毛を敷き詰めます。その巣で雛がかえると、親鳥は一生懸命餌を与えて雛を育て、その成長を見守ります。そして、雛がもう十分に立ち立ちできるようになると、巣立ちを促すため、親鳥は、巣の内側にあった柔らかい羽毛と木の葉を、すべてくちばしで外へ捨ててしまいます。跡には鋭いトゲのある枝しか残りません。雛は巣から飛び立とうとしますが、怖がってなかなか飛び立てません。しかし、枝にしがみつくと体にトゲが刺さります。どうすることもできなくなったその瞬間、雛は思い切って大空へ飛び立ちます。これが「巣立ち」となり、雛は自分の翼で空を飛べることをこの時初めて、実感するそうです。

皆さんも、この6年間で大きく成長し、今日卒業の日を迎えています。これから始まる中学校生活で大切なことは、鷲の雛が勇気を出して大空へ飛び立ったように、自分の翼で羽ばたいてみることです。自分の力を信じて思い切って挑戦してください。

最後に皆さんにお願いがあります。今日、家に帰ったら、ぜひ家の人に「ありがとう」の言葉を贈ってください。口で言うのが恥ずかしい人は、紙に書いて渡しても構いません。「ありがとう」、たった5文字の言葉です。でもその5文字が何よりお父さん、お母さんは嬉しいのです。

希望という名の翼を広げ、輝かしい未来に向かって、大きく羽ばたいてください。

卒業式では卒業生も在校生も本当に素晴らしい態度で、来賓の方からも褒めの言葉をいただきました。6年生は4月からの中学校生活で、自分の力を存分に発揮してくれることを願っています。5年生も、最上級生に向けて大いに期待がもてます。さらなる成長が楽しみです。

1年間、ありがとうございました

本日の修了式をもって、今年度の教育活動を終えることになりました。修了式もリモートで行いました。代表児童に「修了証書」を渡し、1年間の子供達の努力の跡を振り返りました。特に私が褒めたことは以下のことです。

- ノーチャイムでも時間をよく守れた。
- 元気で健康に過ごせた(体力の向上、朝食摂取率の高さ、病気罹患が少なかった)。
- 何事も一生懸命取り組めた(意欲)

557人の子供達は一人一人がその子らしさ、個性をよく発揮し、自分のもっている可能性を一生懸命表現してくれました。心も体もよく成長したと思います。本当によくがんばってくれた1年間でした。

春からは1学年ずつ進級します。次の学年が充実した学年になることを期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様には1年間、本校の教育活動に多大なるご協力をいただきました。お陰様をもちまして、子供達も元気に過ごし、充実した教育活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。

辞任式「江北小での日々に感謝」

このたび教職員の定期人事異動があり、以下の先生方が退職・転出となりました。今日は辞任式を行い、子供達とのお別れの場をもちました。

職名	氏名	転出先	在任
教頭	西村 真二	新栄小(佐賀市)	3年
教諭	菊次 進士	有明南小(白石町)	8年
教諭	白濱久美子	北明小(白石町)	8年
教諭	白石 健介	浜小(鹿島市)	4年
教諭	中原 真平	多良小(太良町)	1年
事務主任	坂井 孝輔	基山小(基山町)	3年
講師	伊藤多寿子	大野原小(嬉野市)	3年
支援員	中島 秀人	退職	4年
支援員	古賀 貴	退職	5年
支援員	森 明美	退職	1年
町SSW	高山 理恵	県スクールソーシャルワーカー	5年

在任期間の長短はありますが、保護者、地域の皆様には本当にお世話になりました。ご厚情に感謝申し上げます。

